

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：木津川市

プロジェクト名	まちぐるみの子育て・教育環境づくりプロジェクト		実施期間	平成24年度～	テーマ	子育て支援の充実	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市では、木津南地区において人口、特に子育て世代の人口が急増している。それに合わせ、児童・生徒数も急増しており、平成24年5月に木津中央地区の一部において使用収益が開始されたことから、この傾向は今後、より顕著になることが見込まれる。</p> <p>このような状況の下、義務教育施設・子育て支援施設の適正な整備・充実は急務であり、その他にも、子育て経験者やNPO、ボランティアなどを活用した子育てを社会全体で支援する環境づくりや学校教育の充実が求められる。</p> <p>「子育て支援No.1」を掲げる本市では、最重要課題の一つである。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>子育て世代の人口が伸び続けており、「子育て支援No.1」を掲げる本市においては非常に重要なプロジェクトである。家庭、学校、地域社会、企業、行政等が連携しながら、総ぐるみで子育て支援や教育環境づくりに取り組み、安心して子育てができ、子育て世代が住みたくなる・住み続けたくなるまちづくりを目指す。</p>							
	総事業費（千円）	2,866,890	本年度事業費（千円）	39,613	交付金額（千円）	13,194		
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	小中学校プール改修事業	交付対象	経年劣化が激しいプールについて、児童負傷の危険があるため改修を行う			小学校2校、中学校1校のプール改修		
	木津中学校改築関連事業	交付対象	老朽化が進み耐震強度が不足する木津中学校の改築に伴うグラウンド代替施設関連経費			代替施設の改修、倉庫の設置、バスの運行を実施し、体育の授業、クラブ活動を行う		
	特別支援学級空調機整備事業	交付対象	免疫不全障害児受け入れ教室に空調機を設置する			免疫不全障害児のいる小学校2校に空調機を設置		
	学校給食設備整備事業	交付対象	安全な給食確保のため牛乳保冷庫を更新する			小学校1校、中学校1校で牛乳保冷庫を更新		
	保育園受入児童増加対応事業	交付対象	梅美台保育園分園の空調機設置、清水保育園の改修を行う			受入児童数（24年度末） 梅美台保育園分園23人 清水保育園24人		
	子育て支援拡充対応事業	交付対象	医療費助成対象の拡大、児童クラブ開設時間延長に伴う経費			制度拡充に対応するため電算システムを改修		
	中学校学力向上事業	交付対象	振り返りスタディ、ステップアップ学習、チャレンジ学習へと学力の向上を図る			外部講師による補習等を実施 チャレンジ学習142時間 ステップアップ学習440時間		
	木津南中学校建設事業	関連	子育て世代の人口増が著しい木津南地区に建設した中学校について、都市再生機構による立替金を償還する			補助金、起債相当（23教室分）を都市再生機構へ償還		
	木津中央地区小学校建設事業	関連	平成24年5月に一部使用収益が開始された木津中央地区に小学校を建設する			用地取得23,591.1㎡ 実施設計		
	梅美台小学校校舎増築事業	関連	木津南地区において、児童数の増加に対応するため校舎の増築を行う			25年度にかけて16教室分を増築（24年度は実施設計）		
	木津中学校改築事業	関連	老朽化が進み耐震強度が不足する木津中学校の改築を行うとともに、木津中央地区の生徒受け入れに対応する。			25年度にかけて校舎、体育館を全面建て替え（24年度は実施設計、附帯施設の整備）		
	恭仁小学校耐震診断事業	関連	木造校舎である恭仁小学校の耐震診断を行う			耐震診断結果をもとに耐震基準を満たすための補強計画を作成		
清水保育園耐震改修事業	関連	平成23年度に実施した耐震診断結果にもとづき、清水保育園の耐震改修を行う			耐震補強工事実施（23年度は耐震診断）			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：木津川市

住民協働事業	地域で支える学校教育推進事業	関連	地域住民による学校支援ボランティアの地域力を活用する	市の方針を決定する実行委員会及び具体的な学校支援を協議する学校支援地域本部を木津南・山城中学校区で設置	
住民が取り組む事業	子育て支援事業	関連	NPO法人への委託による保育事業や広場事業などを実施する	保育事業（個人保育や集団保育など）や広場事業（ショッピングセンター2か所でのつどいの広場）などを実施	
成果指標	成果指標の目標数値	待機児童数：28人（平成22年度実績）		成果指標の実績値（25年3月31日時点）	待機児童数：95人
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	平成22年度には新しい保育所が開設され一時的に待機児童数が減少したが、児童数が年々増加しているため待機児童数も増加傾向にある	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>受入児童・生徒数の増加に対応するため、施設の改修や増築、備品の整備などの施策を講じている。平成26年度には木津中央地区に新たな保育所が開設予定であり、待機児童は減少すると見込まれる。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	施設の大規模な改築や増築、新たな施設の建設など国の補助事業に付随する、補助事業では対応できないきめ細かな事業について、地域住民の力を活用して市単独事業として実施する			
	府と市町村等との連携に資する成果	NPO法人などの団体に関する情報を共有することで団体の活動機会が広がる			
	住民の自治意識を高める成果	地域住民による学校支援ボランティアの地域力を活用することで社会全体での子育て支援の環境づくりを推進する			
	その他の成果	安心して子育てができる環境を整備することで、女性が社会進出する機会が生まれ、生活様式が多様化する子育て世代の定住化につながる			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：木津川市

プロジェクト名	学研都市推進プロジェクト		実施期間	平成23年度～	テーマ	人口増に伴う社会基盤整備	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>関西文化学術研究都市は国家プロジェクトとして建設が進められており、平成18年度には関西文化学術研究都市サード・ステージ・プランが策定され、今後概ね10年間にわたる取組の方向性が示された。木津地域には「精華・西木津地区」「平城・相楽地区」「木津地区」といった中核地としてのクラスターを含み、文化学術研究施設をはじめ、居住環境や都市機能の整備が進んでいる。</p> <p>平成24年5月には木津中央地区の一部において使用収益が開始され、人口は今後も増加し続けると見込まれ、それに伴う公共交通網や義務教育施設・子育て支援施設などの社会資本整備が急務となっている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>木津川市の特徴の一つである関西文化学術研究都市に関連したプロジェクト。関西文化学術研究都市に集積する人、物、産業を最大限に活用し、企業誘致や新産業の創出はもちろん、人口増に対応するための社会基盤整備、豊かな自然や歴史・文化と調和したまちづくりを進める。</p>							
	総事業費（千円）	3,662,802	本年度事業費（千円）	101,738	交付金額（千円）	18,687		
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	学級数増加対応事業	交付対象	児童数増加に対応するため、教室の増設、学校備品、給食備品の整備を行う			倉庫、少人数教室を改修し普通教室に転用、学級数増に対応するため学校備品、厨房機器を購入		
	関西文化学術研究都市公共交通サービス事業	交付対象	公共施設へのアクセスや交通空白地帯の解消など、学研都市開発により広域化する生活圏を支えるためバスを運行する			「公共交通だより」の発行、1日フリー乗車券の導入、ダイヤ改正を実施（年間利用者数243,681人）		
	企業立地促進事業	交付対象	地域経済の活性化や雇用の創出を図るため、要件を満たす企業に対し助成金を交付する			誘致企業（木津南地区）：5社 操業支援助成金：1社		
	鹿背山瓦窯跡史跡等買上事業	交付対象	木津中央地区の開発に先立つ調査により確認された鹿背山瓦窯跡を公有化し、史跡の保存と活用を行う			鹿背山瓦窯跡8,660.04㎡のうち2,344.24㎡を取得		
	木津南中学校建設事業	関連	子育て世代の人口増が著しい木津南地区に建設した中学校について、都市再生機構による立替金を償還する			補助金、起債相当（23教室分）を都市再生機構へ償還		
	木津中央地区小学校建設事業	関連	平成24年5月に一部使用収益が開始された木津中央地区に小学校を建設する			用地取得23,591.1㎡ 実施設計		
	梅美台小学校校舎増築事業	関連	木津南地区において、児童数の増加に対応するため校舎の増築を行う			25年度にかけて16教室分を増築（24年度は実施設計）		
	木津城址公園建設事業	関連	木津中央地区において、歴史的文化遺産の保存とスポーツレクリエーション機能を有する地区公園を整備する			事業期間：H21～H25 計画面積：8.7ha		
	生物多様性保全計画策定事業	関連	材木や加ミソウ等貴重種が生息する木津北地区において、生物多様性保全計画を策定し、里山の保全を図る			事業期間：H23～H25 地域連携保全活動協議会の運営、現地調査の実施		
住民協働事業	里山保全事業	関連	木津北地区において、住民団体による里山保全活動、市職員等による側面支援を行う			市職員も参加する「キノコモクラブ」により里山保全活動を年8回実施、キノコモ通信の配信		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：木津川市

成果指標①	成果指標の目標数値	きのつバス利用者数：1,350,000人（H23～H27の5か年）		成果指標の実績値 （25年3月31日時点）	きのつバス年間利用者数：243,681人（23年度：245,857人）	
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	利用者数は昨年からはほぼ横ばい状態であり、短期間での急激な増加は期待できない。運行形態等を見直すとともに、長期的な推移を評価対象とする。目標数値：H23～H27の5か年の利用者135万人		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）	
成果指標②	成果指標の目標数値	企業誘致件数：4社（平成23年度時点）		成果指標の実績値 （25年3月31日時点）	企業誘致件数：5社	
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	関係機関（関西文化学術研究都市推進機構）と協力し、首都圏域での誘致活動を行うなど積極的に対面活動を実施した		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	学研都市区域をよりよく発展させることにより、定住人口の増加や企業・研究施設の誘致に大きな効果が期待できる。学研都市区域における人口増に対応するためのインフラ整備はもとより、在来地区と関連するインフラを整備し木津川市全体の調和が醸成され利便性が向上することで、学研都市区域のさらなる発展につながる。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	企業誘致や新産業の創出はもちろん、人口増に対応するための社会基盤整備、豊かな自然や歴史・文化と調和したまちづくりを進め、学研地区のみならず在来地区との融合・調和を進める				
	府と市町村等との連携に資する成果	関西文化学術研究都市の整備促進は府山城広域振興局地域振興計画において明記されており、学研都市を有する市町と府が連携することで、学研都市全体の発展につながる				
	住民の自治意識を高める成果	住民らによる里山保全活動を市職員が側面支援することで、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という機運が高まり、地域住民が主体となった地域づくりにつながる				
	広域的波及成果	関西文化学術研究都市は複数の府県・市町にまたがっており、それぞれの市町の発展が学研都市全体の発展につながる				
	行財政改革に資する成果	企業を誘致することで税収の増加につながる				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：木津川市

プロジェクト名	地域資源発掘・魅力創造プロジェクト	実施期間	平成23年度～	テーマ	地域資源の活用	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>木津川市は府内でも京都市に次ぐ文化財の宝庫である。また、木津川や里山等から構成される豊かな自然、地域の人々の生活・産業や風土により形成された文化など、旧町が守り育ててきた自然と伝統・文化が豊富に存在する。その一方で、関西文化学術研究都市として世界最先端の研究施設等が立地している。</p> <p>これらの多様な地域資源を、地域住民の力を活用することで発掘し、守り育て、情報発信し、木津川市の魅力をみつめなおすことが求められている。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>木津川市は、豊かな自然や自然と調和した歴史・文化・関西文化学術研究都市など文化的価値の高い資源が豊富であり、様々な文化がまち全体に根付いている。地域住民の力を活用しこれらの地域資源を再発見することで、多様な個性が融合した新たな「木津川市文化」を創造し、魅力と活力あるまちづくりを進める。</p>						
	総事業費（千円）	857,496	本年度事業費（千円）	22,185	交付金額（千円）	8,553	
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	文化財記録写真デジタル化事業	交付対象	旧町から引き継いだ文化財調査の写真フィルムに劣化が見られるため、デジタルデータ化を行う		町史編纂作業による撮影した歴史フィルム418点をデジタルデータ化		
	高麗寺跡史跡整備事業	交付対象	歴史学習の拠点とするとともに、史跡の保全と文化・観光資源としての活用を図るため、史跡公園整備を行う		高麗寺跡の環境整備に関する設計、施工		
	木津城址公園建設事業	関連	木津中央地区において、歴史的文化遺産の保存とスポーツレクリエーション機能を有する地区公園を整備する		事業期間：H21～H25 計画面積：8.7ha		
	鹿背山瓦窯跡史跡等買上事業	関連	木津中央地区の開発に先立つ調査により確認された鹿背山瓦窯跡を公有化し、史跡の保存と活用を行う		鹿背山瓦窯跡8,660.04㎡のうち2,344.24㎡を取得		
住民協働 事業	木津川市観光振興事業	交付対象	国民文化祭での取組を継承した木津川アートや社寺秘宝・秘仏特別開扉を実施、住民有志によるまちかど案内所の開設		木津川アート来場者数：5,891人（23年度59,485人）、特別開扉：9か所、まちかど案内所：73ヶ所		
	環の拠点創出事業	交付対象	茶問屋街の古民家の活用、サイクリング愛好家の拠点の整備により旧街道の賑わいの創出を図る		環の拠点創出事業準備委員会を設置し協議を進めた（2回開催）		
	史跡恭仁宮跡保全管理事業	交付対象	史跡恭仁宮跡の保全や景観維持のため、地元住民や住民組織の手により、除草やは花の栽培を行う		草刈作業：4.2ha（年2回） 花卉栽培：1.7ha 清掃等維持管理：1ha		
住民が 取り組む 事業	木津川市納涼大会事業	交付対象	観光協会を中心とした市民による実行委員会が運営する納涼大会に対し助成を行い、地域振興を図る		市内で活動する22団体の協力により実行委員会を組織、来場者数は45,000人		
	ふるさと案内事業	関連	NPOなどの住民団体が中心となり、まちに残された貴重な遺跡や文化財を勉強しながら、ガイドツアーなどを行う		木津川市観光まちづくりネットワーク（加入団体：52団体）		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：木津川市

成果指標①	成果指標の目標数値	ホームページアクセス数：80,000		成果指標の実績値 (25年3月31日時点)	ホームページアクセス数：810,407	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	ホームページのデザインを一新するとともに、市の魅力を全国に伝えるためビデオオンデマンドサービスの実施に向け観光情報などの様々な動画を配信したため		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	観光入込客数：984,512人（平成23年度実績）		成果指標の実績値 (25年3月31日時点)	観光入込客数：905,750人	
	成果指標の達成状況	—	(左の理由)	木津川アートの実施形態が変わったため（23年度は市内23か所で実施し各会場で来場者数を集計、24年度は当尾地区1ヶ所で実施）単純な比較は困難であるが、この影響と光科学館ふおとん休館の影響を除くと、約4,000人の増加となる		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>国民文化祭での取組を継承し木津川アートや社寺秘宝・秘仏特別開扉を実施した。多くの来場者に加え、新たなホームページで動画を配信することで、より木津川市の魅力を知ってもらうことができ、相乗効果が期待される。また、まちかど観光案内所や木津川市観光まちづくりネットワークなど、地元団体や住民の力を活用することで、多様な地域資源を発掘し、情報発信し、木津川市の魅力を再確認することにつながる。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	国民文化祭での取組を継承した木津川アートや社寺秘宝・秘仏特別開扉への多くの来場者に加え、新たなホームページで動画を配信することで、より木津川市の魅力を知ってもらうことができ、相乗効果が期待される				
	府と市町村等との連携に資する成果	恭仁宮跡は史跡の拡大や宮域の調査などを府と連携して進めており、高麗寺跡は府山城郷土資料館と連携して歴史学習や歴史体験の場として活用することができる				
	住民の自治意識を高める成果	まちかど観光案内所や木津川市観光まちづくりネットワーク、納涼大会の実行委員会など、地元団体や住民の力を活用することで、多様な地域資源を発掘し、情報発信し、自分たちの住む木津川市の魅力を再確認することにつながる				
	リーディング・モデル成果	史跡を公園化する事業は相楽地区で先例のない事業であり、高麗寺跡史跡公園としての有効活用の先駆的モデルとなること期待できる				
	広域的波及成果	木津川市の魅力を全国に伝えるためのメディア戦略として、新しいホームページのビデオオンデマンドサービスを利用して、観光情報など様々な動画を配信した				
	行財政改革に資する成果	史跡公園等の管理運営を住民との協働事業とし、地域の誇りや愛着心を醸成するとともに、管理経費を抑制することができた				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：木津川市

プロジェクト名	安心・安全のくらし実現プロジェクト	実施期間	平成23年度～	テーマ	まちの安全・安心	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市は木津川や多くの山林地域を有しており、大雨等の自然災害に対する備えは必要不可欠である。また、大きな被害をもたらすと想定される奈良盆地東縁断層地震など、地震に対する備えも重要課題である。設備や資機材、物資の整備といったハード面、自主防災組織の強化や防災意識の啓発などソフト面の両面から、災害に強いまちづくりが求められている。</p> <p>地域福祉の観点からは、開発地域において子育て世代の人口が急増する一方で、既成市街地では少子高齢化が進行している。これらに係る社会保障費は年々増加しており、今後もこの傾向は続くと見込まれる。宅地開発の急激な人口増は、将来的に急激な少子高齢化、人口減につながるが見込まれ、今後の大きな課題である。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>市民の生命や財産を災害から守るため、自然災害等に対する防災対策の充実や地域の防犯・危機管理体制の充実をはじめ、快適な生活環境を提供するとともに、全ての市民が健康で安心して暮らすことができるよう、一人ひとりに最も適する保健・医療・福祉サービスを提供する仕組みづくり、健康予防や地域福祉体制の充実を図る。</p>						
	総事業費（千円）	83,215	本年度事業費（千円）	54,969	交付金額（千円）	13,259	
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	恭仁小学校耐震診断事業	交付対象	木造校舎である恭仁小学校の耐震診断を行う		耐震診断結果をもとに耐震基準を満たすための補強計画を作成		
	消防施設整備事業	交付対象	円滑な消防団活動を行うため消防施設の適正な維持管理に努める		消防詰所の改修（2ヶ所）、消火栓器具の整備、消火栓の移設		
	備蓄食糧等整備事業	交付対象	避難所となる市内小中学校の防災倉庫に避難資機材、備蓄食糧を整備する		パン、ごはん各4,000食 マット252枚 毛布300枚 飲料水1,560本 クラッカー5,000食 ストープ6基 簡易トイレ2基		
	林道神童子線路面改良事業	交付対象	降雨により浸食した路面を舗装することで緊急時の避難ルートを確保する		林道神童子線路面改良工事：520m		
	給食センターオゾン除菌脱臭装置設置事業	交付対象	天井が低く結露しやすい加茂給食センターにおいて、細菌や悪臭の発生を抑制するためオゾン除菌脱臭装置を設置する		オゾン除菌脱臭装置を設置し施設の衛生管理に努める		
	木津中学校改築事業	関連	老朽化が進み耐震強度が不足する木津中学校の改築を行うとともに、木津中央地区の生徒受け入れに対応する。		25年度にかけて校舎、体育館を全面建て替え（24年度は実施設計、附帯施設の整備）		
	清水保育園耐震改修事業	関連	平成23年度に実施した耐震診断結果にもとづき、清水保育園の耐震改修を行う		耐震補強工事実施（23年度は耐震診断）		
住民協働事業	児童安全対策事業	交付対象	住民による地域ぐるみの見守り活動の支援や通学路交通安全施設の設置、ヘルメットの購入補助を行う		防犯ブザー購入 学童交通誘導員の配備 安全看板の設置 ヘルメット購入補助 防犯カメラ等による機械警備		
住民が 取り組む 事業	自主防災組織等活動助成事業	交付対象	住民による自主防災組織の日常の訓練や研修、防災知識の啓発活動等を支援する		自主防災組織等活動助成金：21団体		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：木津川市

成果指標①	成果指標の目標数値	自主防災組織 組織数25団体 活動数66回/年 加入世帯率70%		成果指標の実績値 (25年3月31日時点)	自主防災組織 組織数25団体 活動数144回/年 加入世帯率68.7%	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	組織数は増加していないが、継続して防災意識の啓発活動や巡視活動を実施した		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	備蓄食糧：60,000食（平成25年度）		成果指標の実績値 (25年3月31日時点)	備蓄食糧：50,000食	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	目標数値である60,000食（平成25年度）の達成に向け相当数の食糧を確保した（24年度は13,000食を確保）		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標③	成果指標の目標数値	登下校時の事故数：8件（平成22年度実績）		成果指標の実績値 (〇年〇月〇日時点)	登下校時の事故数：4件	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	通学路の交通危険箇所における見守り活動により、交通事故の予防に効果があった		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果 を記載すること	<p>施設の耐震改修や避難資機材、備蓄食糧の整備、消防施設の適正な維持管理などハード面からの防災対策を着実に進める一方で、自主防災組織の強化や防災意識の啓発などソフト面からも防災対策を進めることで、災害に強いまちづくりを推進する</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>					
本プロジェクトに 対する自己評価	関連事業との連携効果	施設の大規模な改築や増築など国の補助事業に付随する、補助事業では対応できないきめ細かな事業について、地域住民の力を活用して市単独事業として実施する				
	住民の自治意識を高める成果	自主防災組織による自発的な防災活動等を通して、災害に対する市民の日常的な危機管理意識の高揚を図ることができる				
	広域的波及成果	市内の防災対策を強化することで、災害時の近隣市町村への応援協力体制、連携の強化につながる				
	行財政改革に資する成果	義務教育施設の耐震改修、備蓄食糧の整備は、単年度に負担が偏らないよう計画的に実施する				